



所内 第16回 写真コンクール入選作「しわよせ」地球化学課 倉沢 一

しわよせ

地球って 本当にまるいんだね。美しいんだね。でも ちょっとここを見てごらん。こんなにしわだらけ。何かたいへんな飛躍があるね。そんなこともないさ。球という形態は物理的に最も安定したもののだけれども そのために生じた営力は 局部的にはこうした現象をもたらしているのだ。話しがとびすぎたかな。めまぐるしく変動する巨大社会の中にも このような現象がある。つまり公害というしわよせも その例だね。

ところは長崎県西彼杵郡野母崎の海岸。この地域に広く分布する西彼杵変成岩は 緑色片岩～千枚岩 黒色片岩～千枚岩の組合わせで構成され この写真は片岩にくらべて褶曲が激しく 小断層に富み 地層の走向や傾斜はいちじるしく変化し 変成度の弱い部分を示している。写真の縦軸はおよそ40cm。たいへんな微褶曲構造。白雲母～絹雲母・曹長石～灰曹長石・石英・石墨などから構成され 緑色片岩に近いところでは緑泥石などが加わってくる。

～地質調査所の出版物～

地質調査所月報 第21巻 第5号
報 文

小野千恵子・片田正人：北上山地の古生層泥質岩変成相の化学成分に関する2, 3の事実

牧真一他5名：常磐炭田多賀地域のヘリウム資源について

T. Fujinuki: On the minor-elements in the Ryukyu limestone from Kikai-jima Island, Kagoshima Prefecture, Japan

講演要旨

東北海道豊頃山地の“大川岩”について (佐藤)

紅葉山層について (佐川)

石狩層群から産する生痕化石 (大嶋)

オフロ峠付近における沢水の地化学的性質について (横田)

火山岩斑晶中の固体包有物の分析 (矢島)

九州五島列島の「相の島変成岩類」(牛田・松井・大森)

九州西方甌島周辺海域の海底地質 (水野・海底地質調査技術グループ)

人事異動

(新)

(現)

齊藤 正雄 辞 職 地質調査所北海道支所長

上島 宏 地質調査所北海道支所長 地質調査所資料室長

青柳 信義 地質調査所資料室長 地質調査所燃料部主任研究官

昭和45年6月30日 工業技術院

地質ニュース	第192号	8月号
	定価 250	円
昭和45年8月25日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (261) 7173・9387	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	政府刊行物販売所	
	東京都千代田区大手町1の8	
	Tel. (111) 5570	
印刷所	共同印刷株式会社	